

平成30年度 湖西市文化財保護審議会

－ 会議録 －

日 時 平成30年11月26日（月）13時30分～16時25分
会 場 市民活動センター2階 大会議室

○出席者

委 員	◎渡辺 和敏	
	○跡見 厚夫	
	平野 克典	
	牧野 茂	
	後藤 建一	
事務局	渡辺 宜宏	湖西市教育長
	鈴木 徹	湖西市教育次長
	岡本 聡	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 課長
	高橋 一敏	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 課長代理
	鈴木 紀子	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 主査
	鶴 早紀子	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 主事
	鈴木 理恵	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 副主任

◎：会長 ○：副会長 傍聴人：0名

1 開会

2 あいさつ

渡辺教育長

3 会長・副会長互選 会長あいさつ

渡辺委員を会長、跡見委員を副会長に互選

4 報告事項

(1) 平成30年度文化財関係事業の進捗状況

- ・トキワマンサク里づくり事業 ・文化財保護保存事業 ・市内遺跡発掘調査事業
- ・関所整備事業 ・新居関所史料館管理事業
- ・旅籠紀伊国屋資料館管理事業 ・小松楼まちづくり交流館管理事業

(文化財保護保存事業)

会長：市指定文化財保存伝承補助金額はいくらか。

事務局：新居町細工花火が3万円、橋本大般若経お経守が3万円、大倉戸チャンチャコチャンが1万7千円となっている。

会長：大倉戸チャンチャコチャンについて、子供に限定しなくてもよいのでは。

(市内遺跡発掘調査事業)

会長：窯跡確認調査の5箇所はどこか。

事務局：富士機工株式会社（新居町）の西側の台地45haくらい。

(旅籠紀伊国屋資料館管理事業)

会長： 入りにくいので、来館者が入りやすいようにしてほしい。

事務局： 気候がよいときは戸を空けているが、冬は受付がとても寒い。

会長： 入口は障子でないとならないのか。ガラス戸などどうか。せっかく、おひなさま展も行うので、外からおひなさま展がみえるとよい。

(2) 市内指定文化財の現況報告

- ・ 建造物 本興寺の茅葺屋根保存修理
- ・ 天然記念物の状況（東福寺のマキ、諏訪神社のケヤキ、神座のトキワマンサク）
- ・ 史跡 白須賀の火防樹（マキ）
- ・ 史跡 豊田佐吉邸の展望台の土砂崩落工事
- ・ 本興寺の自動火災報知機受信機の故障
- ・ 白あり被害の発生（関所の木柵、八幡諏訪神社、本興寺客殿・大書院）
- ・ 埋蔵文化財 宇津山城跡の土塁崩れ
- ・ 建造物 本興寺の中門の保存修理

(史跡 白須賀の火防樹)

事務局： 白須賀の火防樹は天然記念物ではなく、史跡。倒木の危険性があるため、安全確保のために伐採してもよいのではないかと考えている。

委員： 伐採でよいと思う。火防樹は個人が所有しているものか。伐採の場合費用はどうか。すべて個人の負担ではなく、市から補助金が出るような形にできないか。

事務局： 個人所有。補助の対象となる。

委員： 本来の火防樹は低いところにあるものなのではないか。あまり、火防樹としての機能がないように思う。

委員： やはり木自体は天然記念物ではなく、史跡なので安全を優先し、伐採など手を入れる形でよいと思う。

(埋蔵文化財 宇津城跡の土塁崩れ)

委員： 土塁は宇津山城当時のものではない。その後の土地利用として重要と見るのであれば、土嚢を積んで経過をみるのがよいのではないか。

事務局： 巡回調査で確認していただきたい。

(白あり被害の発生)

会長： 白ありの駆除に補助金を出しているか。

事務局： 出していない。

(建造物 本興寺の中門の保存修理)

会長： 中門は指定文化財になっているか。どういった謂れがあるのか。

事務局： 市の指定文化財になっている。方丈から本堂へ向かうときに中門を通過していた。本来は、山門はなく中門を利用していたと聞いている。

5 調査

(3) 指定文化財候補物件「本興寺の中世文書」

会長： 一括指定がよいのではないか。すでに、市の文化財になっているものがあるので、追加指定になるのではないか。いずれにしても見てみないとわからない。文書名については、「本興寺の中世文書」より「本興寺の戦国期文書」の方がよいのではないか。

委員： 一括指定と、1点1点ごとに指定する、どちらがよいか市としての決まりはあるか。一括指定してしまうと、すでに指定されている本興寺については1点1点を指定する形をとっているのでは齟齬が出てしまう。内容で決めたほうがよいのではないか。

事務局： 決まりはないが、指定物件は多いほうがよい。これまで、本興寺については1点1点を

指定する形をとっている。これまでと齟齬がないようにしたいと思っている。

委員：本興寺で整理をした際に、巻物にしたはず。巻物になっているのであれば、巻物ごと指定してしまう方が散逸しにくい。保存状態を加味して一括指定か1点1点を指定するか決めればよいのではないか。

(14時50分より本興寺へ移動。)

(本興寺現地調査① 古文書)

本興寺で現地調査を行った結果、文書1点1点が平成元年頃に掛軸の形で整理されており、写真撮影をおこなった。

(本興寺現地調査② 三十番神座像)

寺：江戸後期から祀られるようになった。番神堂の中に放置されており、昭和19年の地震によってばらばらになっていたものを拾い集め修理した。できれば、大学の専門家にみてもらいたい(旅費は支出可能)。この他にも、八幡様(仏像)を勧請して安置するのは珍しい。

6 閉会

(以上)